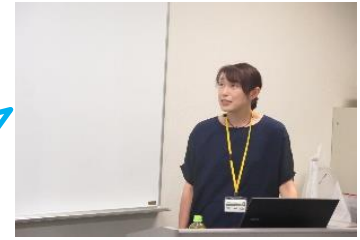


社会科の授業の課題

- ・社会科の学習問題が上手くつけれない。
- ・教師の説明が長くなりがちになる。
- ・問題解決的な学習の授業展開にならない。
- ・そもそも、社会科って何をどうやって教えたらいいの？



このような困り感を改善したいと思い、研究に取り組んでいます。

発表テーマ(小学校社会科)

小学校第5学年稲作単元において単元全体を見通し、
課題意識をもって追究する児童を育成する指導法
- ヒント提示型の手法を応用した単元を見通す学習問題づくり -

問題解決的な学習には、子供たちが調べたい・解決したいと思う学習問題が必要です。そのような学習問題を設定するには、事象提示で、まずは、「どうなっているの」「なぜ」といった子供の問いを基に課題意識をもたせることが大切になります。本研究では、ヒント提示型の手法を応用し、KJ法と組み合わせることで、課題意識をもちながら追究活動に向かう子供たちを育成することができると考えました。

【ヒント提示型によって出された様々な子供の問いを、KJ法で整理する】



単元全体を俯瞰し、毎時の学習問題を子供たちが協働的につくることができるように、写真やグラフなどを動画資料としてまとめました。この資料の視聴から疑問や不思議に思ったことを付箋に書きます。その後、班でその付箋を子供たちなりの視点で仲間分けしてタイトルを付けます。

そのタイトルを学級全体で整理して、学習問題をつくっていくことで、学習者である児童自身が内容のまとめりである単元を見通すことができます。社会科としての見方・考え方を働かせ、鍛えていく、深い学びがここからスタートします。



〈児童の感想〉

- ・学習問題をつくるのが簡単だと思った。
- ・米づくりのことをいろいろ調べてみたいと思った。



内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2018でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2018

平成30年11月16日(金)・17日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994

Center Information
Aomori Prefectural School Education Center.